



「伝える」を楽しんで探る場所

大学生になり、より伝えることを楽しむようになりまし
た。受験生の頃は、机に向かって1枚の作品を仕上
げることばかりだったと思います。でも視デでは体を
動かし体験し調査したり、それを自由な方法で伝える
ことができます。例えば最初の課題の「100枚ド
ローイング」。線をテーマに一冊にまとめる課題で
す。この授業では導入として、クラスのみんなが教室の外
や公園で様々な線を試します。課だけで考えるのではな
く、のびのびと体を動かし線の可能性を見つけてい
く感覚です。そして、自分なりに一冊にまとめることとな

受験生へアドバイス

私は高3の6月まで部活を続けていたため、引
退までは週に1、2回しか予備校に行きませんでした。
引退まで部活を続けることは焦りもありましたが、達
成感もあったし、むしろ集りが励みになり良かった
と思っています。引退後はできるだけ努力しました。
あと、大学生になって予備校で学んだことは生かさ
れます。アイデアの詰め方やデザインに対する姿勢
など、本当に根本的な大切なことを教えてくれた場所
でした。だから、自分のことをよく考えてくれる先
生の言葉をしっかりと聞いて頑張ってください。



自然のカタチ

この作品は植物が生き残る上で成るべくして
成ったカタチ。いかに自然のデザインが素晴らしい
かを分りやすく伝えるための仕掛けです。
そして、各植物にちなみ仕掛けをつけて、誰
が感覚で自然に見ながら自然のデザインを感じ
てもらえるような本を制作しました。

受験生へアドバイス

僕は、通っていたが大規模な予備校ではなかったこ
ともあり、受験時代を自分のペースで進めることが
できました。受験期は進んでいけるという言い方、自
分のペースでのプロセスで、ここでもテーマに対しての身
身体験に基づいた調査があることで、自分の気づき
が得られることを学びます。そのために視デ授業の
多くはテーマに対する調査に重きを置いています。学生
である今、身につけるべきことは小手先の表現の仕
方ではなく、表現に至るまでの物語を捉えてそこから「何
が気づける力」であると思います。それを4年間通して
学べるのが視デの魅力です。



Block Pin

Block Pin
Safety, Smart, Variety.

Block Pin

Block Pin
より安全で、より可愛らしいピンです。画面と
ブロックを組み合わせることで、Block Pin、ブ
ロックのように組み立てられるこのBlock Pin
は好きな色を出してでも自然な風景の再現
の力を発揮します。また好きなデザイン
に組み立てられるのも特徴。Block Pinがいつ
もお部屋に彩りを。

受験生へアドバイス

昨年オープンキャンパスの受験生に向けた授業で
も言ったのですが、とにかく楽しむことと思いま
す。なかなか上位に上がれなかったり、周りの友達と
学んだものがたくさんあります。そしてこれからは、ど
うやら上手くなるか、ではなく「どうやら上手くなるか
」ってことを考えるのがいいのかもしれない
です。やるのが楽しくなれば自然と上手くなるはず。
自分なりの「受験の楽しみ方」をぜひ見つけてくだ
さい。どんなにつらくても楽しんでほしいんです。



「伝える」を考えられる場所

視デは、私にとっては「伝える」という事を改めて考
えることができる場所でした。ただ一方に伝えるの
ではなく、共有する感覚です。グループワーク
も、卒業制作も、なにかを作るときはイメージを共有
することが大切でした。カッコいいものを作るだけが
デザインではなく、整理整頓も立派なデザイン。ど
うしたら伝わるのか、そこを考えるとデザインの大
きな醍醐味なのだと、4年間を通して学びました。ど
んな作品を作る時も、伝えなければ自己満足で、伝
わるからこそデザインの意味があると、制作する時に常

受験生へアドバイス

視デのいいところは、学生のうちにしかできない経験
を沢山させてくれるところだと思います。みんなで目
撃し合えるという環境を「伝える」事を考
えることができる環境はなかなかないのではないで
しょうか。また、視デでは自分の個性を表現する
機会が豊富です。友人、仲間、教授、友人の人生の中
で様々な考え方にふれ、そこから自分が形成され、デ
ザインに還元されていく。経験とデザインの深い関係
を感じました。視デは、伝えるという事をじっくりと
考える事ができる、本当に恵まれた環境です。



